

パネルディスカッション

16:00～17:00 セミナー室3

テーマ：「ロボットに期待すること」

昭和30年代鉄腕アトムや鉄人28号がテレビに登場してから50年以上がたち、今そのブームが再来しています。アシモに代表されるようにロボット技術は50年前の夢を叶えそうな勢いで(一部は夢が実現しています)進歩しています。現代、ロボットには二足歩行ロボット、産業用ロボット、レスキューロボット、水中ロボット等多種多様に存在します。我々高専においても毎年NHKロボコンでいろいろなロボットを作製しています。今年は近畿地区予選の主管校でもあることから、神戸市機械金属工業会会員企業様の協力を得て、全国大会を目指して頑張りました。このようなことから本フォーラムのメインテーマを「ロボットと情報技術」としました。パネルディスカッションでは、我々はロボットに何を期待しているのかを、産学官それぞれの立場でのコメントをいただき、ロボットに対する夢の実現へ向けて意見を交わしたいと思います。

パネリスト

株式会社村元工作所 取締役 村元 四郎(むらもと しろう)氏

神戸市 産業振興局工業課 課長 三谷陽造(みたに ようぞう)氏

神戸市立工業高等専門学校 教授 小林 滋(こばやし しげる)氏

コーディネーター

神戸市立工業高等専門学校 教授 大淵真一(おおふち しんいち)氏

パネリストプロフィール

株式会社村元工作所 取締役 村元 四郎(むらもと しろう)氏

昭和 36 年 神戸市立六甲工業高等学校化学科(現神戸市立工業高等専門学校)卒業

昭和 36 年 株式会社村元工作所入社、同社海外現地法人代表取締役、同社代表取締役を歴任。

現在、(社)神戸市機械金属工業会会長、日本金属プレス工業会副会長、神戸商工会議所議員、兵庫県中小企業活性化センター社外相談役、兵庫県経営者協会副会長、神戸大学大学院非常勤講師、大阪産業大学非常勤講師、神戸市総合基本計画審議会委員等の要職にあり社会・経済とりわけ地元中小製造業の発展に旺盛な活動を展開している。

神戸市 産業振興局工業課 課長 三谷陽造(みたに ようぞう)氏

1969 年 神戸市役所採用、2004 年 神戸市企画調整局企画調整部主幹、2006 年 神戸市産業振興局主幹、2007 年 現職。2003 年「地域産業おこしに燃える人」に選定される(内閣府)。2007 年「中小企業サポーター」に認定される(経済産業省)。2006 年～2008 年 神戸学院大学客員教授。主な著書「阪神復興と地域産業」(第 1 章 2001 年 新評論)、「地域産業支援施設の新時代」(共編 2001 年 新評論)、「地域ブランドと産業振興」(第 7 章 2006 年 新論評)。

神戸市立工業高等専門学校 教授 小林 滋(こばやし しげる)氏

1979 年 姫路工業大学工学研究科機械工学科修了。三菱自動車工業(株)水島自動車製作所やデトロイトにて勤務。1986 年 4 月 神戸市立工業高等学校機械科教諭にて神戸市に採用、1988 年 神戸市立工業高等専門学校講師、1990 同校 機械工学科助教授、2000 同教授 1995 年の阪神淡路大震災を転機としてレスキューロボットの開発に取り組む、現在は国際レスキューシステム研究機構客員研究員。専門は制御工学、メカトロニクス。

コーディネータープロフィール

神戸市立工業高等専門学校 教授 大淵真一(おおふち しんいち)氏

1984 年 東京農工大学工学研究科工業化学科修了。1984 年 (株)日本ペイント中央研究所勤務。1985 年 4 月 神戸市立工業高等専門学校 工業化学科 講師に採用され、1982 年 同校 工業化学科 助教授、2004 年 同校 応用化学科 教授、2002 年 地域協働研究センター第 2 部会長、2006 年 地域協働研究センター長を務め、現在に至る。博士(工学)。専門は有機合成化学、有機金属化学。